

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもさぼーとるーむ楽喜			
○保護者評価実施期間	令和7年4月15日		～	令和7年4月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和7年4月15日		～	令和7年4月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月9日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムでの運動支援で児童の中に職員も一緒に入り児童と職員が体を動かして楽しむ。	・児童と職員と一緒に体を動かす事で一緒に楽しみ、コミュニケーションの向上を図っている。	・児童が職員に運動で良い成績を残すことで、児童自身の自信に繋げ、自己評価を高める。
2	・児童が安心して楽しめる環境を作り、一日一日送迎時等に保護者様への学校やデイなどの様子などを伝え合っている。	・児童一人一人が安心して通所し楽しんでもらえるよう寄り添って支援をしている。また、保護者様へ児童がどのような様子であったかなど保護者様へも安心してもらえるよう一日一日の児童の様子をお伝えしている。	・児童に安心して楽しんでもらえる活動内容や児童と職員間の信頼度を高めることで保護者様にも安心して児童を通わせてもらえるよう努める。
3	・平日の運動プログラム、休日の活動プログラム(季節イベント)など固定化しないよう、職員一人一人が立案を出しスケジュールを作成、全体ミーティングと実施後の振り返りのミーティングを行っている。	・活動内容の偏りが無いよう、また、児童にも飽きさせないように季節にあったイベントや児童に楽しんでもらえる立案を職員間で話し合い、作成実施を行い、振り返りミーティングを行うことで次回の活動立案に繋げている。	・児童間で流行っていること等を聞き、職員が立案し作成実施をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域と他の交流の機会が少ない。	・どのような活動が地域交流と位置付けられているのかが職員の間で理解が不十分である。	・地域のお便りやSNSなどを通して職員間で地域活動の認識深めたい。
2	・親子での参加型活動を開催はしているが保護者会や意見交換会を設ける機会ができていない。	・決まった時間の確保が難しく実施に至っていない。	・保護者様へニーズやご意見など取り入れていき、ニーズに合わせて開催できるよう努めていきたい。
3	・非常時の対応やマニュアルが保護者様に周知できていない。	・各対応マニュアルの周知ができていない。	・お便りやSNS等を用いて周知していきたい。